

働く仲間が 力合わせるとき

2015年



〒520-0041
滋賀県大津市浜町1-38
滋賀銀行従業員組合
TEL. 077-521-2775
FAX 077-525-5232
<http://www.biwa.ne.jp/ffs/>
e-mail:ffs@biwa.ne.jp

新しい年を迎えて

金融労連・滋賀銀行従業員組合
執行委員長 中島 康隆

新年あけましておめでとうございます。今年には偏西風に乗って寒気団が日本に押し寄せ、正月早々から大雪を降らせるなど、異常環境を連想させる厳しい年初めでした。

しかし、冬本番はまだこれからです。みなさんどうか健康には十分ご注意ください。昨年とは、地域金融機関については「再編・統合」に集約される一年だったのではないのでしょうか。

一昨年末に、人口減少化での「ビジネスモデルの持続性」に疑義を唱え、「森ペーパー」により個別金融機関名を示しながら、当時の畑中金融庁長官が「連携や経営統合を経営課題」「よく決断」のよう求めました。

その後、数行の地方銀行で経営統合が発表されるなど、私たち地域金融機関に働くものとしては、不安と緊張感のある一年でした。

地域金融機関の再編については、昨年の「労使懇話会」で、経営から「当行は自分の城は自分で守る」「自主自立の方向性が示されました。

しかし、滋賀県といつ「地域から必要」とされるための新たな施策についての話は、何もありませんでした。

滋賀銀行では、昨年末、厳しい経営環境が続くことを理由に、「人事制度改正提案」が提案されました。内容は賃金削減と合理化によって従業員に犠牲を強いる側面の強いものです。

私たちは、滋賀銀行を地域金融機関として「地域から真に必要な銀行」にしていくことが、重要と考えています。

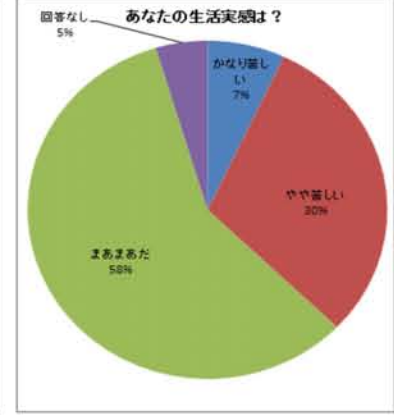
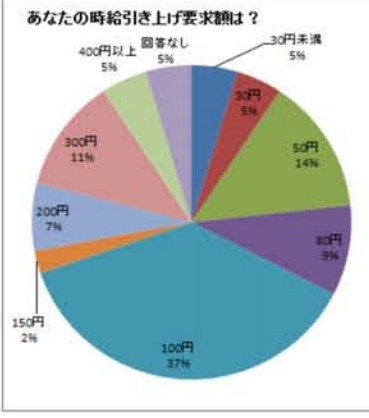
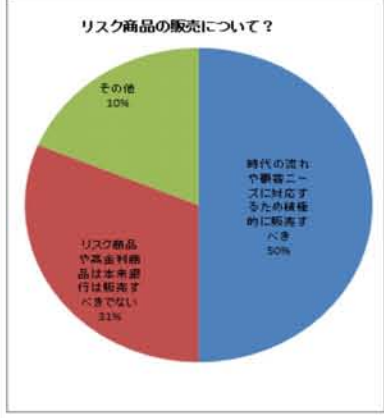
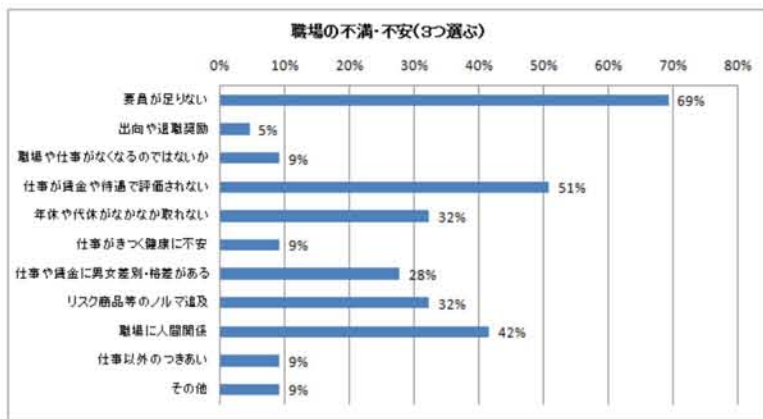
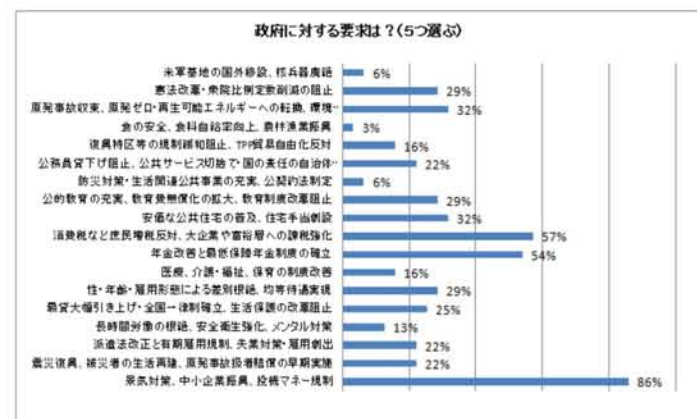
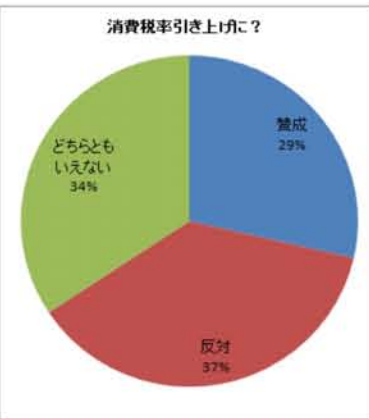
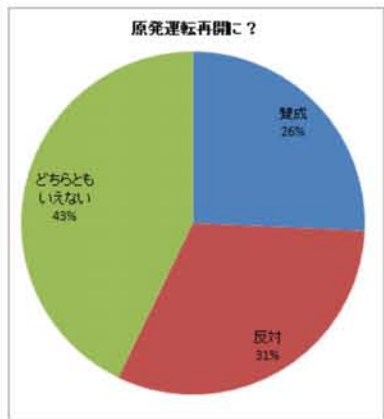
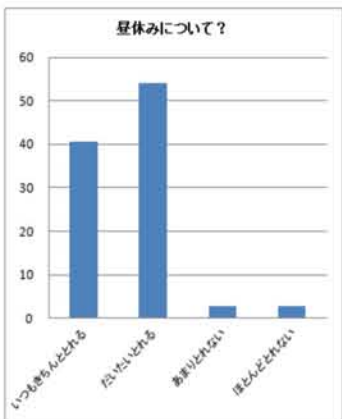
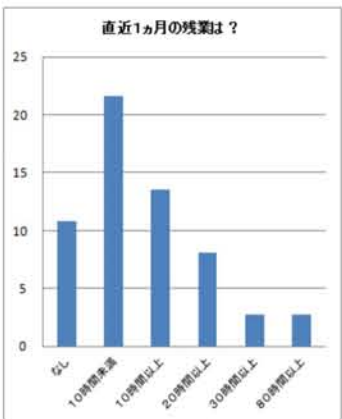
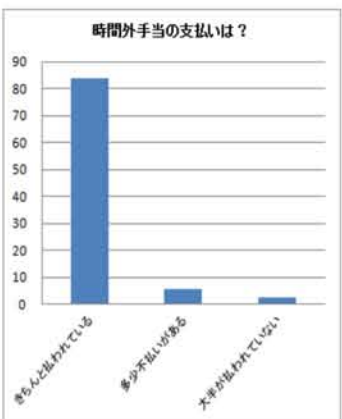
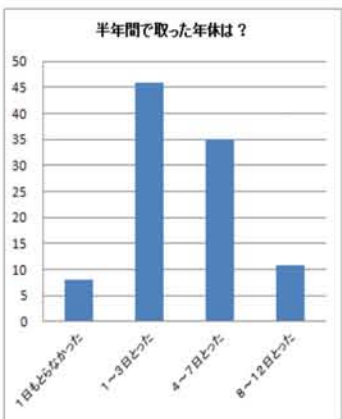
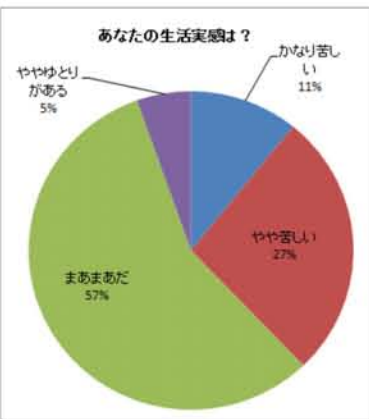
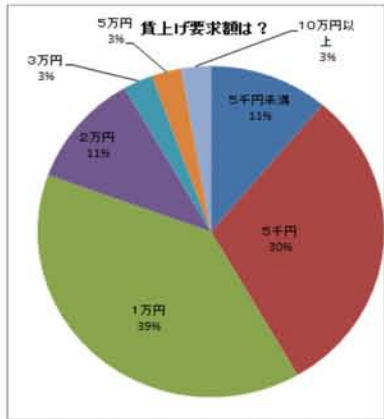
そのためには、私たちみんなが知恵を出し合い、行動していかねばなりません。銀行の言う「人が財産」が言葉だけでなく、経営の中で生きるように、本当に働きがいのある銀行にするために積極的に提案していきたいと思っています。

ぜひみなさんからご意見をお寄せいただければと思います。

「職場と生活アンケート」中間集計

ご協力いただきましたアンケートの中間集計ができました。賃上げの要求作成や職場の労働条件改善に生かし、安心して働ける職場をめざします。

行員分



非正規分

